

歩掛参考見積募集要領

次のとおり歩掛参考見積を募集します。

令和8年8月5日

独立行政法人水資源機構
木津川ダム総合管理所
所長 竹内 宏隆

1. 目的

この歩掛参考見積の依頼は、木津川ダム総合管理所で予定している業務の積算の参考とするための作業歩掛を依頼するものです。

2. 参考見積書提出の資格

- (1) 水資源機構における令和7・8年度一般競争（指名競争）参加資格業者の認定を受けていることとします。
- (2) 営業に際し法律上必要とされる資格を有していることとします。
- (3) 水資源機構から「工事請負契約に係る指名停止等の措置要領」（平成6年5月31日付け6経契第443号）に基づき、淀川水系関連区域において指名停止を受けていないこととします。

3. 参考見積書の提出等

参考見積書は、次に従い提出してください。

- (1) 参考見積書は、作業項目毎に必要な技術者の人数等を記載して提出して下さい。
なお、参考見積書の様式は問いません。
- (2) 提出期間：令和8年8月18日（火）から令和8年8月20日（木）まで
持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、午前9時から午後5時まで
- (3) 提出先
独立行政法人水資源機構 木津川ダム総合管理所 所長 竹内 宏隆 宛
【担当】経理課 坂尾（さかお）
〒518-0413 三重県名張市下比奈知 2811-2
TEL 0595-64-8961 FAX 0595-64-8964
メール nyukei_kizuso@water.go.jp
- (4) 提出方法
書面は持参、郵送、FAX 又はメール（社印があること）により提出するものとします。

4. 参考見積内容

- (1) 業務基本条件
別紙の「見積仕様書」のとおりとします。
- (2) 業務作業項目、作業内容及び作業数量
別紙の「見積仕様書」のとおりとします。
- (3) 業務費の構成と歩掛見積徴取範囲
 - ① 本歩掛参考見積を適用する工事費（業務費）の構成は、当機構が別に制定する「積算基準及び積算資料（各編）（以下、「基準書」という。）によるものとします。

② 歩掛参考見積徴取範囲は基準書で定義されている直接人件費のうち、上記（２）「業務作業項目、作業内容及び作業数量」を実施するために必要な作業員技術者の人数等を徴取します。

（４）技術者の職種と定義

国土交通省が公表している「令和８年度設計業務委託等技術者単価」における「技術者の職種区分定義」によるものとします。

（５）見積有効期限

見積有効期限は令和９年３月末までとします。

５．募集要領に対する質問

この募集要領に対する質問がある場合においては、次に従い、書面（様式は自由）により提出してください。

（１）提出期間：令和８年８月６日（木）から令和８年８月１２日（水）まで

持参する場合は、上記期間の午前９時から午後５時まで

（２）提出場所：３．（３）に同じ

（３）提出方法：３．（４）に同じ

６．質問に対する回答

質問に対する回答書は、次のとおり閲覧に供します。

（１）閲覧期間：令和８年８月１８日（火）から令和８年８月２０日（木）まで

（２）閲覧方法：ホームページに掲載します。

７．参考見積書作成及び提出に要する費用

参考見積提出者の負担とする。

８．ヒアリング

提出していただいた参考見積書について、ヒアリングを実施することがあります。

９．その他

この参考見積書をご提出いただいたことで、業務の指名又は競争参加資格をお約束するものではありません。

以上

見積仕様書

件名：木津川総管河川環境調査等業務（仮称）

1. 業務目的

本業務は、土砂還元による効果を把握するための基礎資料を得ることを目的に、比奈知ダム及び高山ダム下流河川において物理環境、生物等の現地調査を行うものである。

また、高山ダム、青蓮寺ダム、室生ダム及び比奈知ダム下流河川において、フラッシュ放流及び土砂還元の効果を検証するための調査計画を策定するものである。

2. 業務範囲

環境調査の範囲は、別添図 1 から別添図 6 の範囲を予定している。

3. 調査内容

3-1 計画準備

受注者は、業務全般を把握し業務内容の要点を整理・確認の上、業務計画書を作成するものとする。

また、現地調査地点周辺の状況を把握するため現地踏査を実施し、現地調査計画書を作成するものとする。調査にあたっては特別採捕許可及び特定水産動植物の採捕許可が必要となるため、三重県への申請書類の作成及び申請手続きを行うものとする。

なお、本見積りには含んでいないが、本業務の中では、以下に示すフラッシュ放流時調査を実施するため、当該調査についても業務計画書・現地調査計画書に含めるものとする。

青蓮寺・室生・比奈知ダム

調査時期	調査地点	調査項目
当日まで	新夏見橋、上名張、大屋戸潜没橋、安部田（猪尻橋）	藻類剥離状況写真撮影
当日	上名張（上名張水位計付近）	現地水質測定、定点撮影 （10:00～16:00）
	大屋戸潜没橋	現地水質測定、定点撮影、 水位変化観測（10:00～16:00）
	家野橋	現地水質測定、定点撮影 （12:00～17:00）
	大川橋	現地水質測定、定点撮影 （13:00～18:00）
後日	新夏見橋、上名張、大屋戸潜没橋、安部田（猪尻橋）	藻類剥離状況写真

高山ダム

調査時期	調査地点	調査項目
当日まで	ダム直下地点（2箇所）、大河原潜没橋（3箇所）、有市潜没橋、笠置大橋、布目川地点（2箇所）	藻類剥離状況写真撮影
当日	島ヶ原	現地水質測定、定点撮影 （9:00～12:00）
	ダム直下地点	定点撮影（9:00～14:00）

	大河原堰堤	定点撮影 (9:00～14:00)
	大河原潜没橋	現地水質測定、定点撮影 水位変化観測 (10:00～15:00)
	笠置大橋	現地水質測定、定点撮影 (10:00～18:00)
後日	ダム直下地点 (2箇所)、大河原潜没橋 (3箇所)、有市潜没橋、笠置大橋、布目川地点 (2箇所)	藻類剥離状況写真

(1) 藻類剥離状況写真

フラッシュ放流前後において、フラッシュ放流前後の藻類剥離状況の定点撮影を行う。

(2) 定点撮影

フラッシュ放流当日において、30分毎に定点撮影を行う。

(3) 現地水質測定

フラッシュ放流当日において、水温、pH、DO、電気伝導度、濁度、クロロフィルaを10分毎に測定する。

(4) 水位変化観測

フラッシュ放流当日において、10分毎に河川水位を観測する。

3-2 河川粗粒化等調査

1) 底質粒度組成調査

① 比奈知ダム

比奈知ダム調査地点 (St. 2 (四間橋) 及び St. 7 (ダム直下)) の河原 (出水時に冠水する範囲) 及び水中部に堆積している泥から砂礫について、試料の最大粒径を37.5mmと想定し、1箇所につき6kg程度の採取を行い、底質粒度組成を分析 (ふるい分析) するものとする。

なお、採取箇所数は各5箇所とする。

② 高山ダム

高山ダム調査地点 (St. 1 (置土上流) 及び St. 2 (置土下流)) の水中部において底質粒度組成調査を面格子法 (コドラートサイズ1m×1m、格子間隔10cm) で行い、交点下の礫100個の長径、中径、短径を測定し、粒度分布等を求めるものとする。

なお、各調査地点 (St. 1 (置土上流) 及び St. 2 (置土下流)) の測定箇所数は各3箇所とする。

3-3 河川環境調査

1) 底生動物調査

① 比奈知ダム

比奈知ダム調査地点 (St. 7 (ダム直下)) において、各地点の代表的な「1. 瀬」、「2. 淵」、「3. ワンド・たまり」、「その他 (「4. 植生あり」及び「5. 植生なし」)」の5箇所を選定し、採集は、同様の環境で各箇所3回行うものとする (計15検体)。

なお、採集用具としてはサーバーネット (25cm×25cm 目合0.493mm (NGG38)) を使用するものとする。

サンプルは種の同定及び種別個体数の計測、湿重量の計測を行うものとする。

また、サンプルに混入した枯葉等の粒状有機物については、3段階の篩（目合い：
＞4.75mm、1.00～4.75mm、0.25～1.00mm）にかけ、乾重量を測定するものとする。

② 高山ダム

高山ダム調査地点（St.1（置土上流）及びSt.2（置土下流））においては、各地点で同様の環境3箇所を選定し、採集は各箇所1回行うものとする（計6検体）。なお、採集用具としてはサーバーネット（25cm×25cm 目合 0.493mm（NGG38））を使用するものとする。

サンプルは種の同定及び種別個体数の計測、湿重量の計測を行うものとする。

3-4 調査結果とりまとめ

下流河川環境調査の結果を整理し、比奈知・高山ダム下流河川域における物理環境、底生動物の確認状況を取りまとめ、考察を行うものとする。

なお、底生動物の調査結果の整理については、「令和8年度版 河川水辺の国勢調査基本調査マニュアル[河川版]（底生動物調査編）」に準ずるものとする。

3-5 調査計画策定

① 青蓮寺ダム、室生ダム、比奈知ダム

比奈知ダムにおける下流河川環境調査（物理環境（河床断面及び底質粒度組成調査）及び底生動物調査）及び3-1で示したフラッシュ放流時調査を踏まえ、土砂還元の効果及び影響範囲を検証するための新たな調査計画（調査地点及び調査数量）を策定するものとする。

下流河川環境調査を計画する区間は、青蓮寺ダム下流河川（直下～名張川合流点）、室生ダム下流河川（直下～室生川合流点）、比奈知ダム下流河川（直下～四間橋）において、2箇所程度の調査を想定している。

また、当該区間から下流の名張川・宇陀川の区間についても、フラッシュ放流時調査の調査範囲等を踏まえ、土砂還元の効果及び影響範囲の検証に必要な調査地点等を検討し、提案するものとする。

調査項目は、原則として物理環境調査（河床断面及び底質粒度組成調査）を行うものとする。

なお、底生動物調査は現在、比奈知ダム下流河川で1地点実施しているが、この調査についても、現状の調査地点・方法が河川の物理環境と生物相との相関の検証に適したものとなっているか検討し、必要があれば改善策の提案を行うものとする。

② 高山ダム

高山ダムにおける下流河川環境調査（物理環境（河床断面及び底質粒度組成調査））及び3-1で示したフラッシュ放流時調査を踏まえ、土砂還元の効果及び影響範囲を検証するための新たな調査計画（調査地点及び調査数量）を策定するものとする。

下流河川環境調査を計画する区間は、高山ダム下流河川（直下～木津川合流点）において、2箇所程度の調査を想定している。

また、当該区間から下流の木津川の区間についても、フラッシュ放流時調査の調査範囲等を踏まえ、土砂還元の効果及び影響範囲の検証に必要な調査地点等を検討し、提案するものとするものとする。

調査項目は、原則として物理環境調査（河床断面及び底質粒度組成調査）を行うものとする。

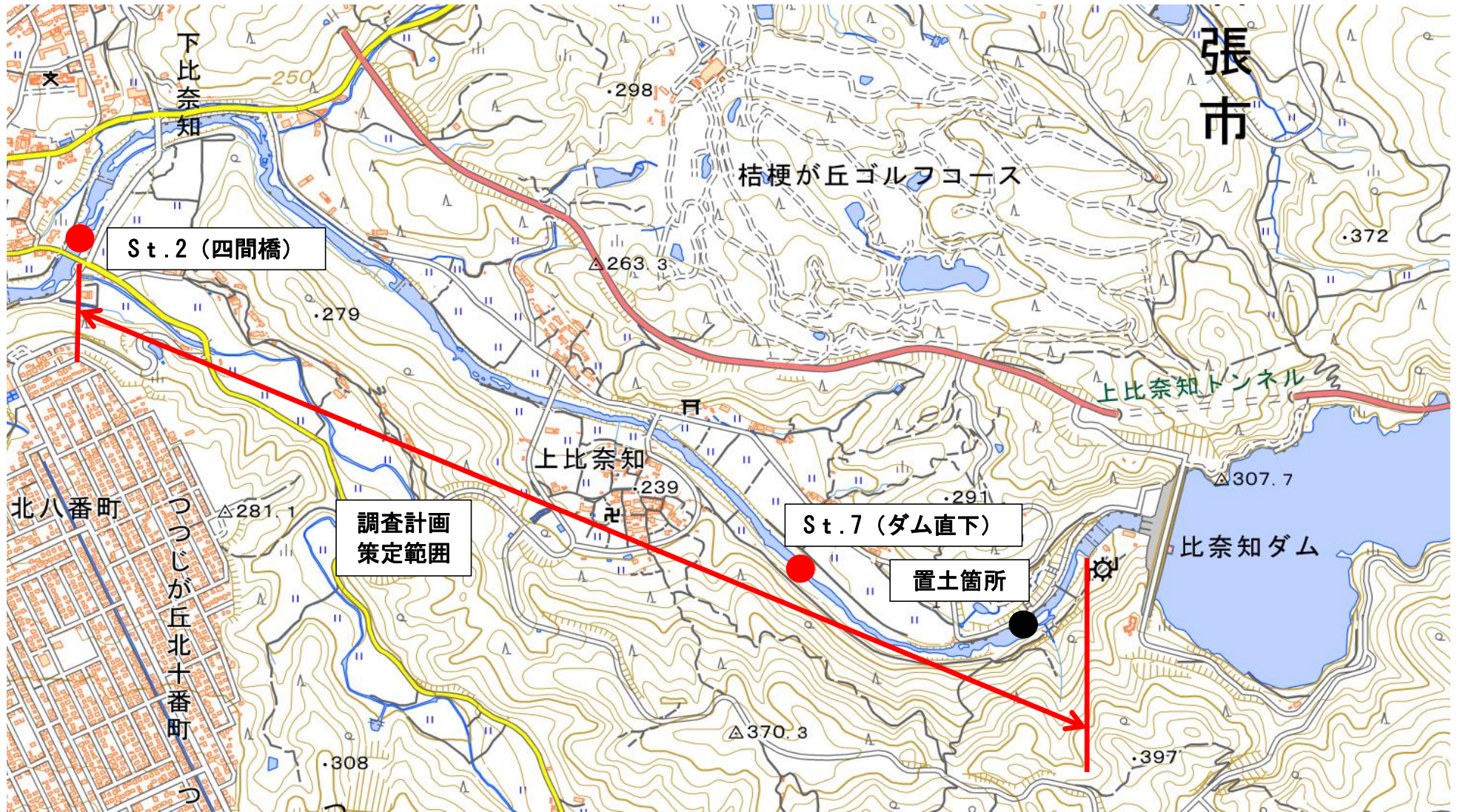
3－6 報告書作成

調査結果及び考察等を取りまとめ、報告書を作成するものとする。
なお、報告書には概要版を含めるものとする。

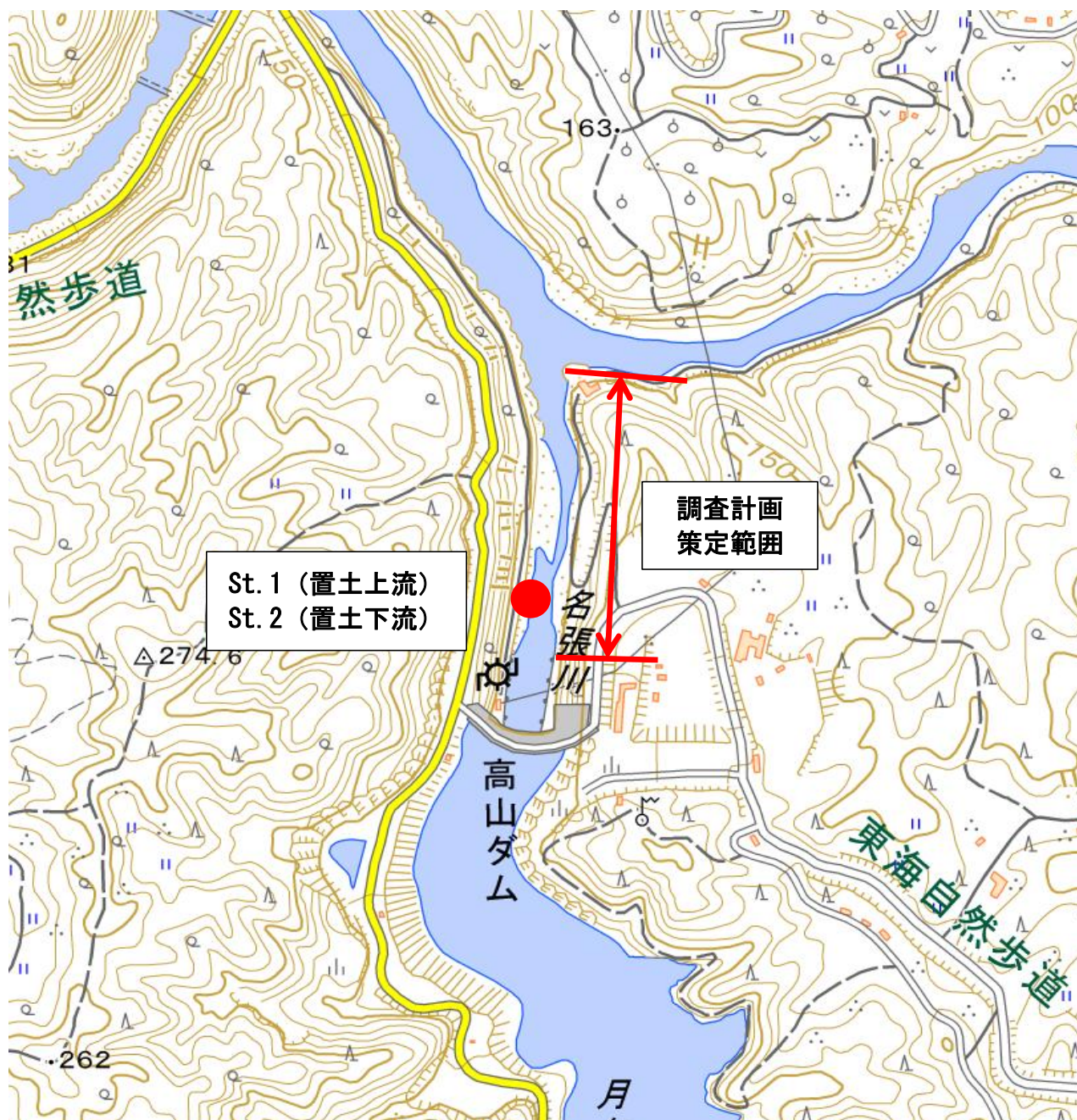
以上

数 量 総 括 表

名 称	単位	数量	備考
計画準備	式	1	
河川粗粒化等調査	式	1	
底質粒度組成調査 (St. 2 (四間橋))	式	1 (5 箇所)	比奈知
底質粒度組成調査 (St. 7 (ダム直下))	式	1 (5 箇所)	比奈知
底質粒度組成調査 (St. 1 (置土上流))	式	1 (3 箇所)	高山
底質粒度組成調査 (St. 2 (置土下流))	式	1 (3 箇所)	高山
下流河川環境調査	式	1	
底生動物調査 (St. 7 (ダム直下))	式	1 (15 検体)	比奈知
底生動物調査 (St. 1 (置土上流))	式	1 (3 検体)	高山
底生動物調査 (St. 2 (置土下流))	式	1 (3 検体)	高山
調査結果とりまとめ	式	1	
調査計画策定	式	1	
青蓮寺ダム、室生ダム、比奈知ダム	式	1	
高山ダム	式	1	
報告書作成	式	1	



調査位置及び環境調査策定範囲（比奈知ダム）



調査位置及び調査計画策定範囲（高山ダム）



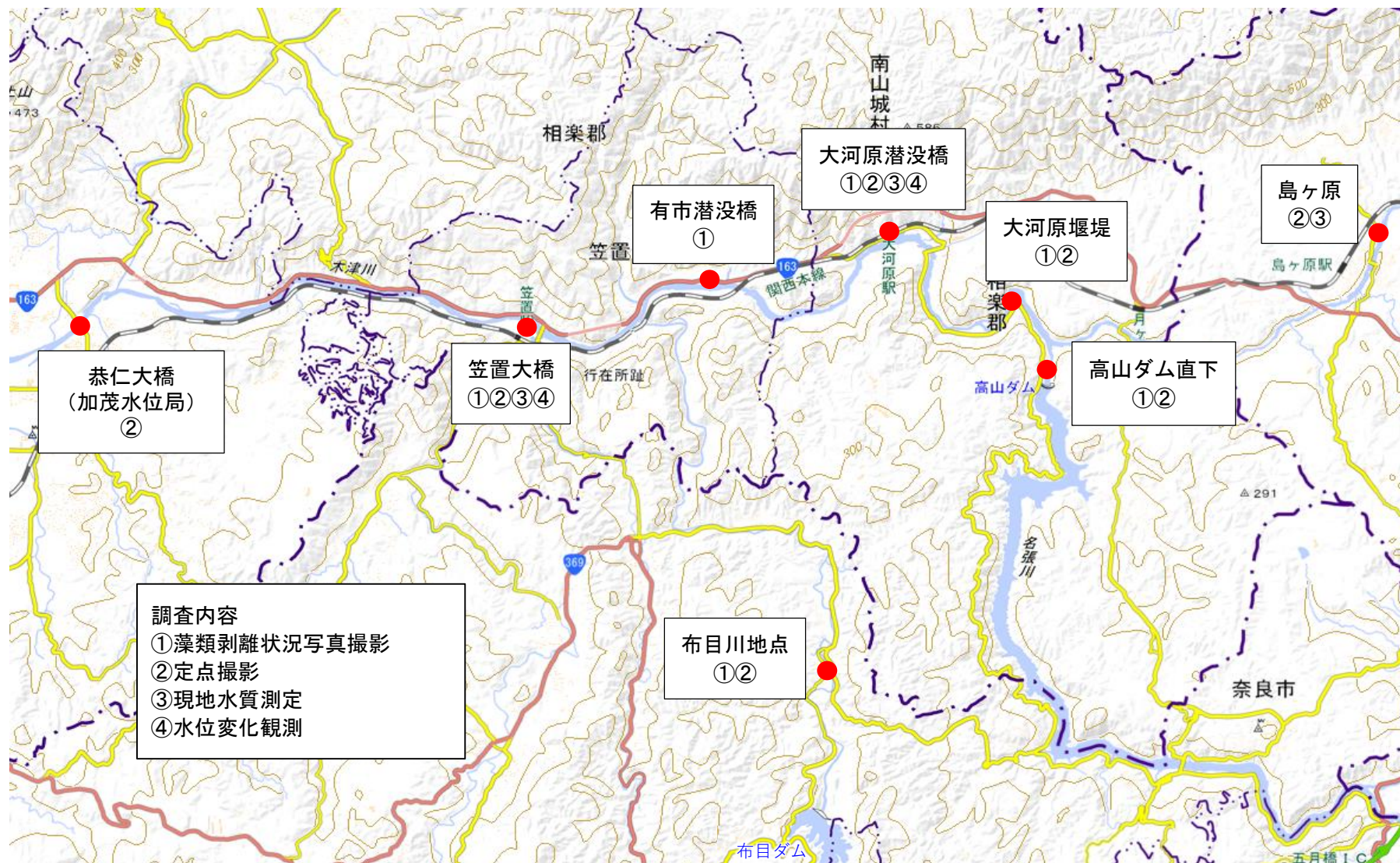
調査計画策定範囲（青蓮寺ダム）



調査計画策定範囲（室生ダム）



フラッシュ放流時調査位置図（青蓮寺・室生・比奈知ダム）



フラッシュ放流時調査位置図(高山ダム)

比奈知ダム調査地点

① St. 2 四間橋（ダムサイトからの距離約2.8km）



橋梁（四間橋）から上流側を撮影



調査位置図



② St. 7 ダム直下（ダムサイトからの距離約0.8km）



右岸下流から撮影



調査位置図



高山ダム調査地点

参考図2

③St.1 置土上流(ダムサイトからの距離約0.1km)



調査地点右岸から下流側を撮影

④St.2 置土下流(ダムサイトからの距離約0.2km)



調査地点右岸から上流側を撮影



調査位置図



概略業務工程表

業務名:木津川総管河川環境調査等業務(仮称)

工種	単位	数量	令和8年		令和9年						備考
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
計画準備	式	1	■								
河川測量	式	1		■	■	■					屋外作業は12月
河川粗粒化等調査	式	1		■	■	■					屋外作業は12月
底生動物調査	式	1		■	■	■					屋外作業は12月
フラッシュ放流時調査	式	1					■	■	■		高山ダム:3月下旬予定 青蓮寺・室生・比奈知ダム:5月中旬予定
調査結果とりまとめ	式	1				■	■	■	■	■	
調査計画策定	式	1		■	■	■	■	■	■	■	
報告書作成	式	1							■	■	

※見積仕様書及び数量総括表に記載のない工種については、見積対象外とします。

労務歩掛見積様式

(1/2)

・様式は参考のため、追加・変更していただいても構いませんが、以下の表中にある調査項目・単位・数量は変更しないようにしてください。

名称	単位	数量	技師長 ※1 (人)	主任技師 ※1 (人)	技師 (A) ※1 (人)	技師 (B) ※1 (人)	技師 (C) ※1 (人)	技術員 ※1 (人)	機械経費 直接人件費の ○ (%) ※2
河川粗粒化等調査	式	1							
底質粒度組成調査 (St. 2 (四間橋))	式	1 (5箇所)							
底質粒度組成調査 (St. 7 (ダム直下))	式	1 (5箇所)							
底質粒度組成調査 (St. 1 (置土上流))	式	1 (3箇所)							
底質粒度組成調査 (St. 2 (置土下流))	式	1 (3箇所)							

※1 調査に必要な技術者人数は、小数第 1 位まで記入して下さい。

※2 機械経費が必要な場合は、直接人件費等に対する割合 (%) を小数第 1 位 (小数第 2 位四捨五入) まで記入して下さい。

名称	単位	数量	技師長 ※1 (人)	主任技師 ※1 (人)	技師 (A) ※1 (人)	技師 (B) ※1 (人)	技師 (C) ※1 (人)	技術員 ※1 (人)	材料費 直接人件費の ○ (%) ※2
河川環境調査	式	1							
底生動物調査 (St. 7 (ダム直下))	式	1 (15検体)							
底生動物調査 (St. 1 (置土上流))	式	1 (3検体)							
底生動物調査 (St. 2 (置土下流))	式	1 (3検体)							

※1 調査に必要な技術者人数は、小数第 1 位まで記入して下さい。

※2 材料費が必要な場合は、直接人件費等に対する割合 (%) を小数第 1 位 (小数第 2 位四捨五入) まで記入して下さい。

名称	単位	数量	技師長 ※1 (人)	主任技師 ※1 (人)	技師 (A) ※1 (人)	技師 (B) ※1 (人)	技師 (C) ※1 (人)	技術員 ※1 (人)
計画準備 ※2	式	1						
調査結果とりまとめ	式	1						
調査計画策定	式	1						
青蓮寺・室生・比奈知ダム	式	1						
高山ダム	式	1						
報告書作成	式	1						

※1 調査に必要な技術者人数は、小数第1位まで記入して下さい。

※2 三重県(比奈知ダム調査地点)への特別採捕許可の申請手数料(3,400円)を含めた歩掛にして下さい。なお、京都府(高山ダム調査地点)には、底生動物調査での特別採捕許可は必要ないため申請は行わない。

分析単価見積様式

(単位：円)

名称	単位	数量	単価
粒状有機物乾燥重量測定	検体	1	
底生動物(同定・計数)	検体	1	

※分析単価は、諸経費等を含まない1検体当たりの単価を記入して下さい。